



Your dreams. Woven together.

2020年6月期 第3四半期 決算説明資料

2020年5月15日

(証券コード:7747 東証一部、名証一部)



目次

1. 2020年6月期(第3四半期) 連結決算の概要

2. 2020年6月期(通期) 連結業績見通し



2020年6月期(3Q累計) 決算のポイント-1

売上高は45,407百万円 <前年同期比 +6.2%>

～外部要因(為替影響・医療償還価格下落・コロナ影響)あるも
メディカル海外売上高を中心に好調に推移し、増収確保～

■ メディカル事業 ～主に海外市場における需要が堅調に推移し増加～

- 前年同期に対して、症例数はやや減少傾向（前下半期に対しては、下げ止まりにより横ばいに推移）
- PTCAガイドワイヤーは、症例数の減少を受けて、数量は横這いに推移
- 脳血管系領域は、ガイドワイヤーの増加に加え、新製品バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor」の販売開始により好調に推移
- 消費税増税に伴う医療償還価格の改定(10月)(△317百万円)
- 新型コロナウイルスの影響は中国が主体、米国など他地域についても徐々に影響が拡大中
- PTCAガイドワイヤーは米国を中心に、好調に推移
- 中国市場においてPTCAガイディングカテーテル「Hyperion」が、代理店の在庫補充に伴い拡大
- 非循環器系分野は、腹部・末梢血管系領域において増加
- 為替動向の影響(△1,079百万円)

国内

海外

■ デバイス事業 ～産業部材取引が減少するも、医療部材取引が好調により増加～

- ◆ 医療部材は、米国向けの循環器系検査用カテーテル部材及び腹部血管系カテーテル部材が好調
- ◆ 産業部材は、国内向けOA機器関連及び建築関連取引が増加するも、海外向けの自動車関連取引が減少



2020年6月期(3Q累計) 決算のポイント-2

売上総利益は増加するも、 営業・研究開発費用などが増加し営業利益は減益

- **売上総利益は31,068百万円 <前年同期比 +2.9% >**
 - 売上高増加による売上総利益の増加
 - 売上総利益率は、為替動向、コロナ影響(売上減少)、固定費増加などにより低下
- **営業利益は12,366百万円 <前年同期比 △4.3% >**
 - 米国や中国市場などの販売・マーケティング強化費用の増加
 - 研究開発費(4,692百万円)の増加(前年同期比+505百万円、売上高比率10.3%)
 - 組織体制強化のための人件費の増加
- **経常利益は12,381百万円 <前年同期比 △4.0% >**
 - 為替差損の減少(前年同期比△60百万円)
- **親会社株主に帰属する四半期純利益は9,278百万円 <前年同期比 △6.6% >**
 - 段階取得に係る差益(400百万円)の減少
 - 新社屋に係る補助金収入(959百万円)の計上
 - 営業補償金(239百万円)の発生

為替 (単位:円)	US\$	EURO	中国元	BAHT
2020年6月期 3Q累計	108.37	119.96	15.45	3.53
2019年6月期 3Q累計	111.58	127.93	16.34	3.44



決算ハイライト

	2019年6月期 3Q累計実績		2020年6月期 3Q累計実績				(ご参考) 前期と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	42,764	100.0	45,407	100.0	+2,642	+6.2	46,587	100.0	+3,822	+8.9
売上総利益	30,189	70.6	31,068	68.4	+878	+2.9	32,331	69.4	+2,141	+7.1
営業利益	12,919	30.2	12,366	27.2	△553	△4.3	13,506	29.0	+586	+4.5
経常利益	12,897	30.2	12,381	27.3	△516	△4.0	13,521	29.0	+623	+4.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,934	23.2	9,278	20.4	△655	△6.6	10,418	22.4	+484	+4.9
EPS(円)*	38.29円	-	35.64円	-	△2.65円	△6.9	40.02円	-	+1.73円	+4.5

* EPSにつきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、

前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



セグメント別売上高

	2019年6月期 3Q累計実績		2020年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	36,144	84.5	38,583	85.0	+2,438	+6.7
デバイス事業	6,619	15.5	6,824	15.0	+204	+3.1
合計	42,764	100.0	45,407	100.0	+2,642	+6.2

(参考)

医療機器分野	38,784	90.7	41,730	91.9	+2,945	+7.6
産業機器分野	3,980	9.3	3,676	8.1	△303	△7.6

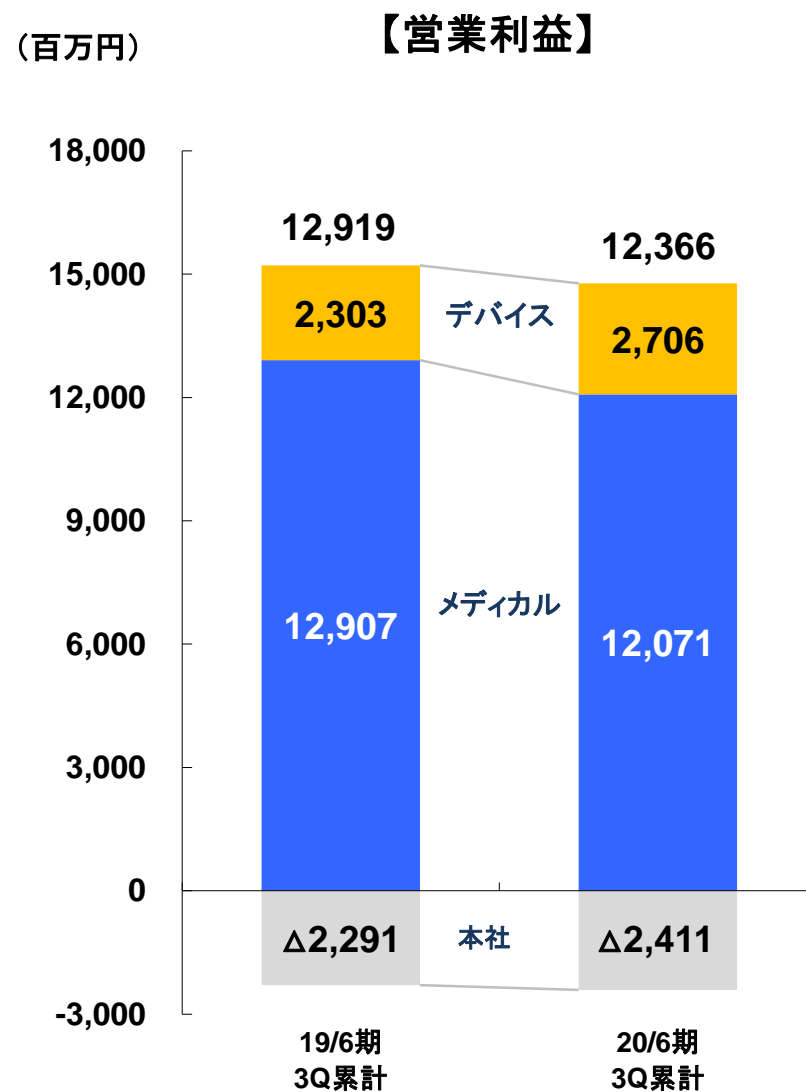
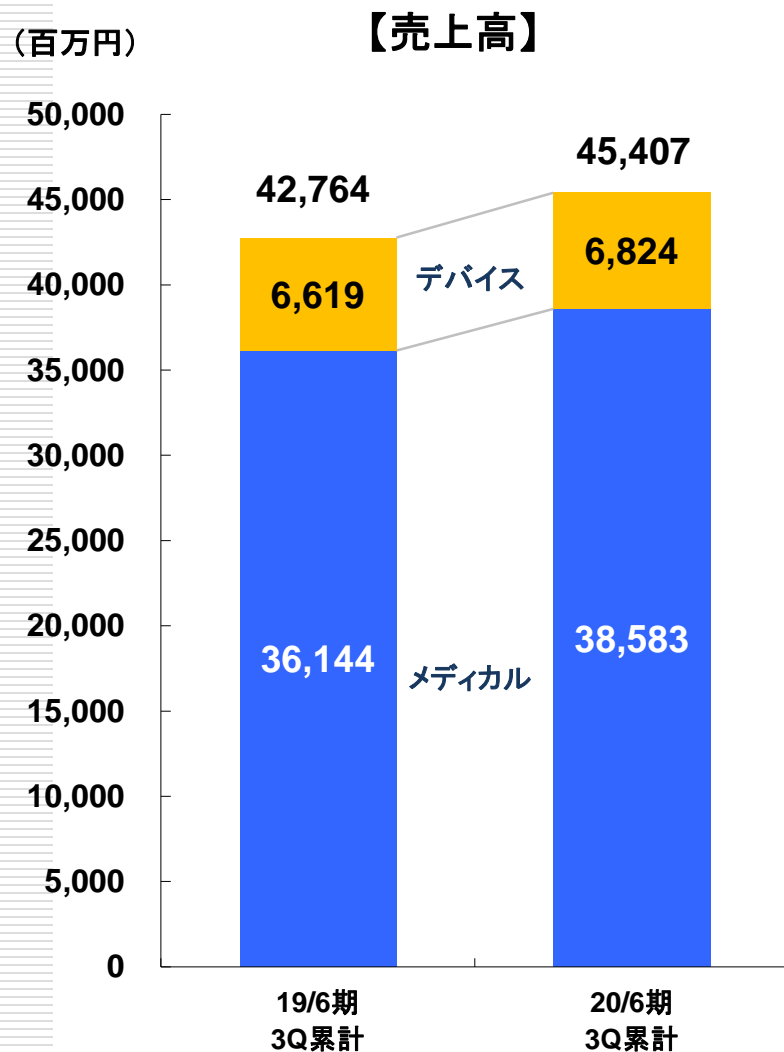


セグメント別営業利益

	2019年6月期 3Q累計実績		2020年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	12,907	84.9	12,071	81.7	△835	△6.5
デバイス事業	2,303	15.1	2,706	18.3	+402	+17.5
計	15,210	100.0	14,778	100.0	△432	△2.8
消去・全社	△2,291	-	△2,411	-	△120	+5.3
合計	12,919	-	12,366	-	△553	△4.3
(ご参考) デバイス事業 セグメント間売上高	2,646	-	3,194	-	+548	+20.7



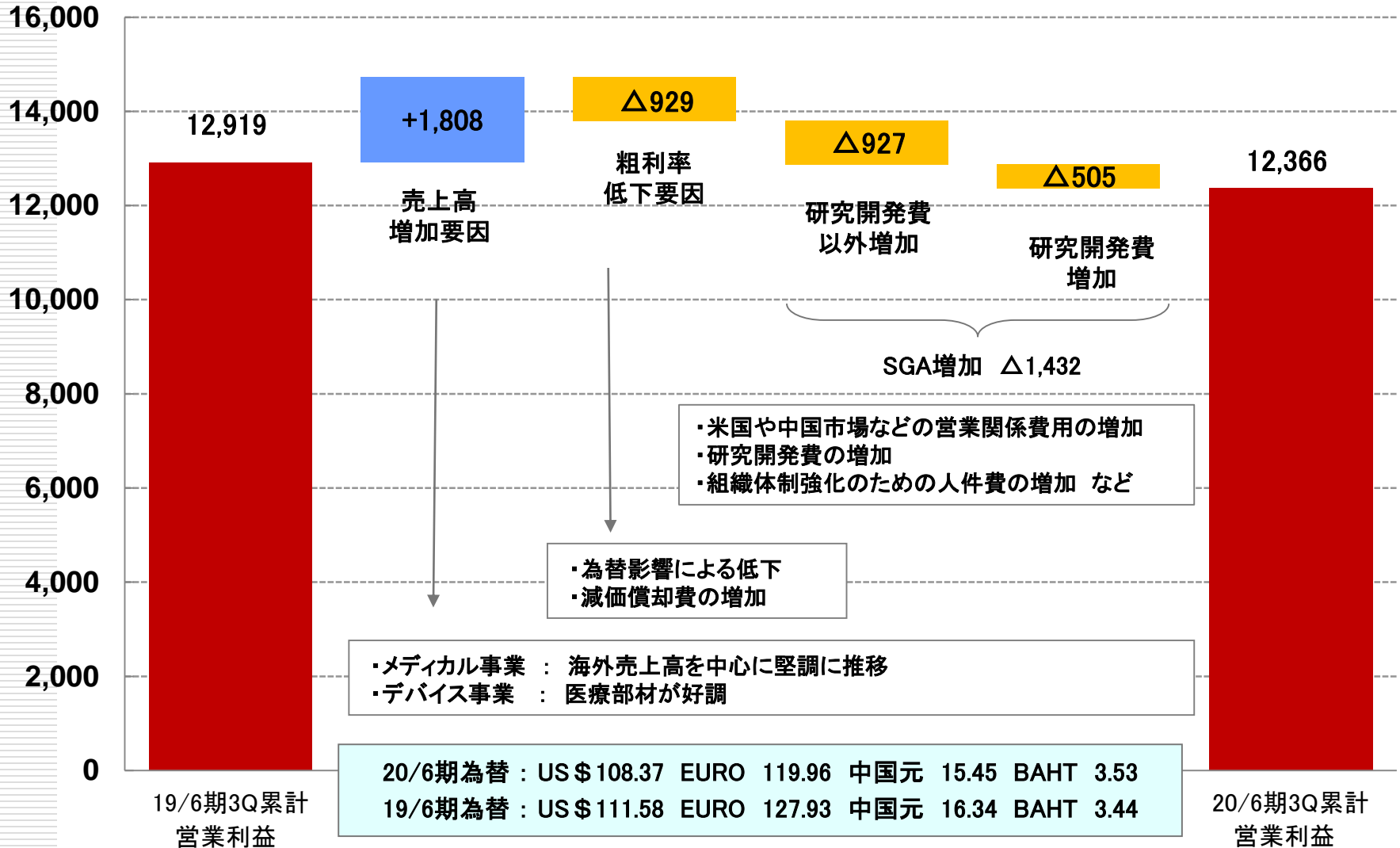
セグメント別の収益状況





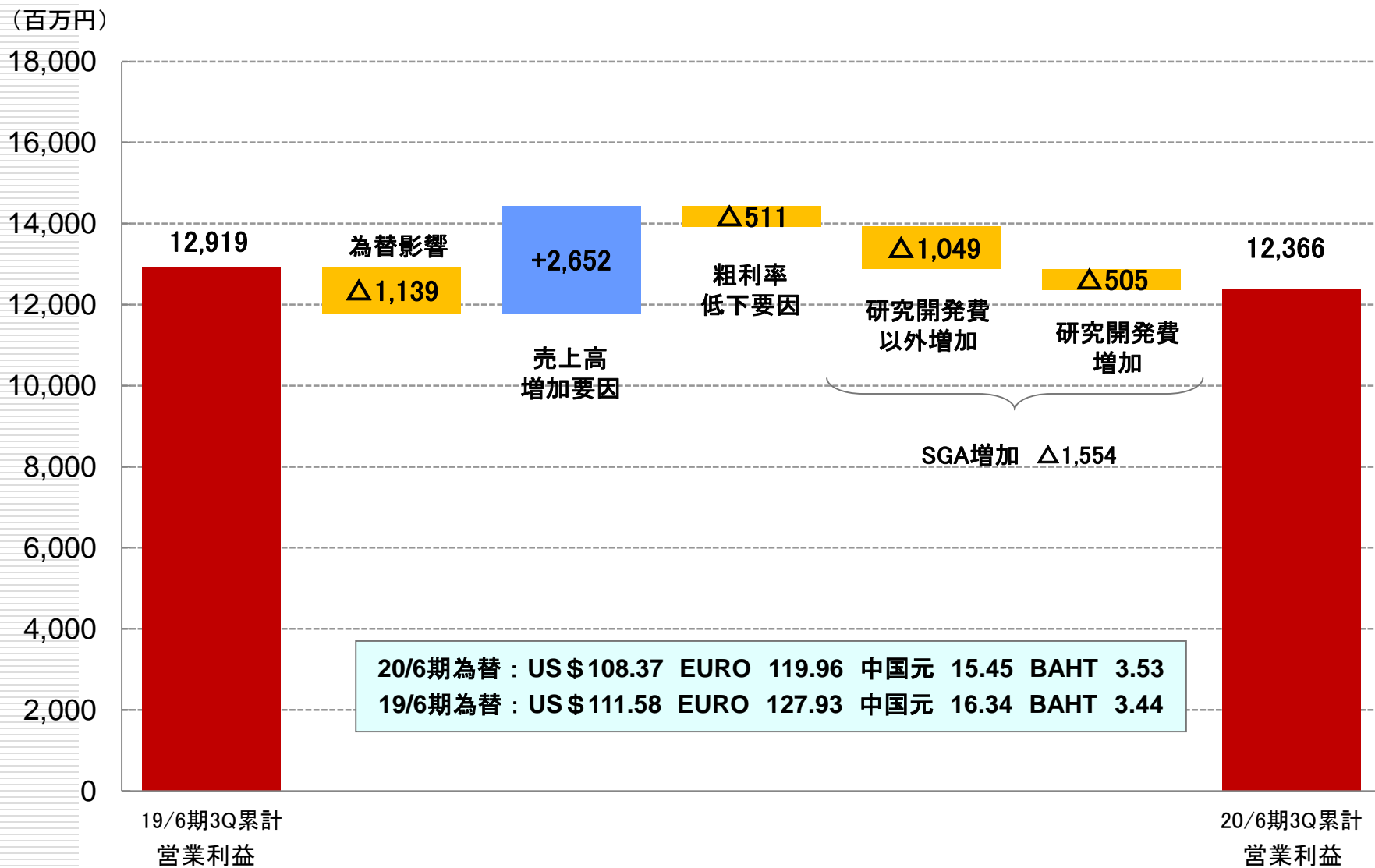
営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)

(百万円)



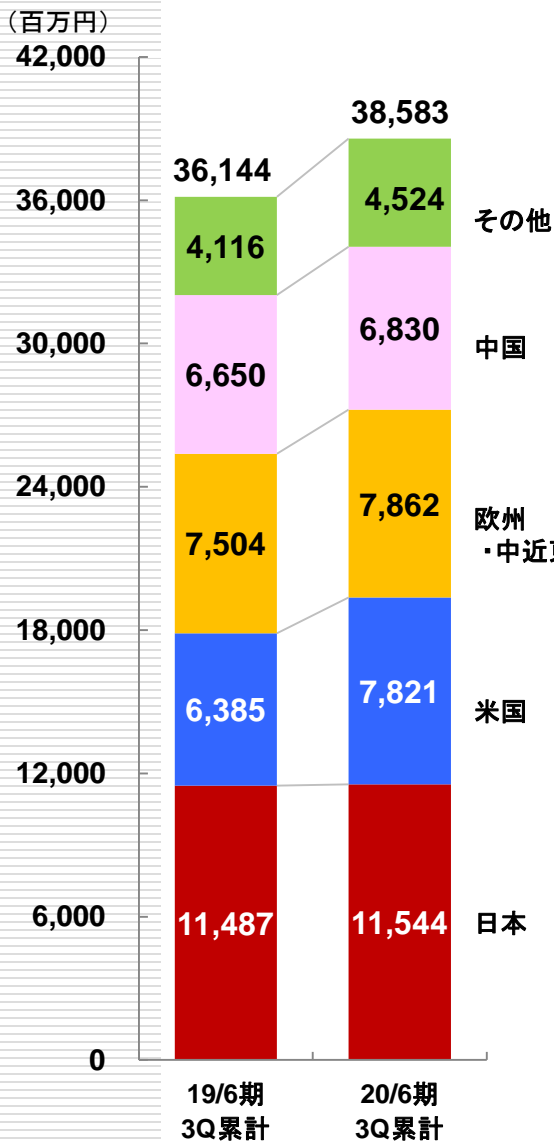


営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)





メディカル事業の状況(地域別-1)



【売上高(前年同期比)】

- **日本**：医療償還価格下落の影響(△317百万円)があるものの症例数減少は一巡し、非循環器系を中心に堅調に推移
 - 症例数は、前下半期から下げ止まりにより、当3Qまでは横ばいに推移
 - PTCAガイドワイヤー：償還価格下落による減少、数量は横ばいにて推移
 - 脳血管系領域：ガイドワイヤーの増加に加え、新製品バルーン付ガイディングカテーテル「Branchor」の販売開始により好調に推移
- **海外**：為替影響(△1,079百万円)があるものの全地域にて増加 中国市場を中心にコロナ影響が生じはじめるも、まだ影響僅少
 - 米国・・・PTCAガイドワイヤー：直接販売化推進に伴い増加(前期上半期は併売) 貫通カテーテル：直接販売強化による増加 脳血管系領域：メトロニック社在庫調整による一時的減少
 - 欧州・中近東・・・PTCAガイドワイヤー：市場シェア拡大による増加
 - 中国・・・コロナ影響による症例数の減少があるも、代理店販売のため影響緩和 PTCAガイドワイヤー：新規代理店への在庫補充・特需の実需化により増加するも、症例数の減少をやや受けて横ばいに推移 PTCAガイディングカテーテル「Hyperion」：代理店への在庫補充により増加 非循環器系分野：腹部用マイクロカテーテル・脳血管系領域において増加
 - その他・・・PTCAガイドワイヤー：主にアジアにて好調

【営業利益】

- 研究開発費及び営業関係費用の増加により減益



メディカル事業の状況(地域別-2)

(単位:百万円)

		2019/6期 3Q累計実績	2020/6期 3Q累計実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	111.58	108.37	△3.21	△2.9
	ユーロ	127.93	119.96	△7.97	△6.2
	中国元	16.34	15.45	△0.89	△5.4
売上高合計		36,144	38,583	+2,438	+6.7
日本		11,487	11,544	+56	+0.5
海外		24,656	27,038	+2,381	+9.7
米国		6,385	7,821	+1,435	+22.5
欧州・中近東		7,504	7,862	+357	+4.8
中国		6,650	6,830	+179	+2.7
その他		4,116	4,524	+408	+9.9
営業利益		12,907	12,071	△835	△6.5



メディカル事業の状況(患部領域別-1)

【売上高(前年同期比)】

循環器

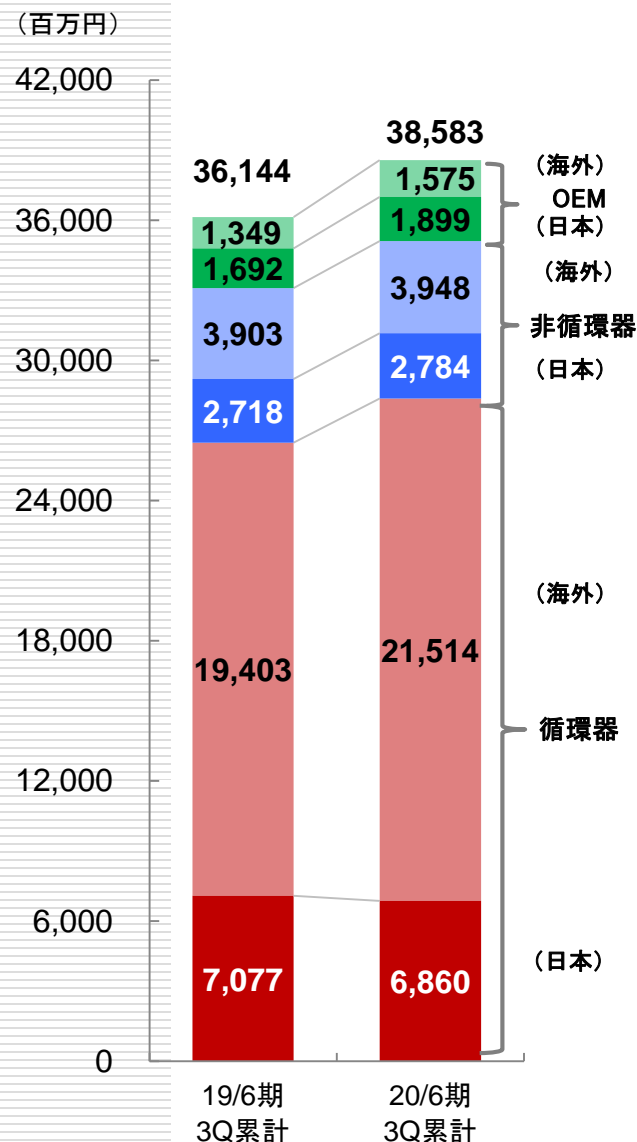
- 日本・・・医療償還価格下落の影響があるものの症例数減少は一巡し、数量は堅調に推移
 - 症例数は、前下半期から下げ止まりにより当3Qまでは横ばいに推移
 - PTCAガイドワイヤー: 数量は横這いにて推移
- 海外・・・為替影響があるものの全地域にて増加
 - PTCAガイドワイヤー: 中国を除く全地域において好調に推移
 - 米国市場において、直接販売化推進に伴い増加
 - 中国市場において、新規代理店への在庫補充・特需の実需化により増加するも、症例数の減少をやや受けて横ばいに推移
 - PTCAガイドワイヤー: 中国市場において代理店への「Hyperion」在庫補充に伴い拡大

非循環器

- 日本・・・脳血管系領域は、ガイドワイヤーの増加に加え、新製品バルーン付ガイドワイヤー「Branchor」の販売開始により好調に推移
- 海外・・・腹部・末梢血管系領域において好調に推移

OEM

- 日本・・・循環器検査用ワイヤー、消化器用ワイヤーなどの取引の増加
- 海外・・・ホストン・サイエンティフィック(米国)向けFFR部材の供給増加





メディカル事業の状況(患部領域別-2)

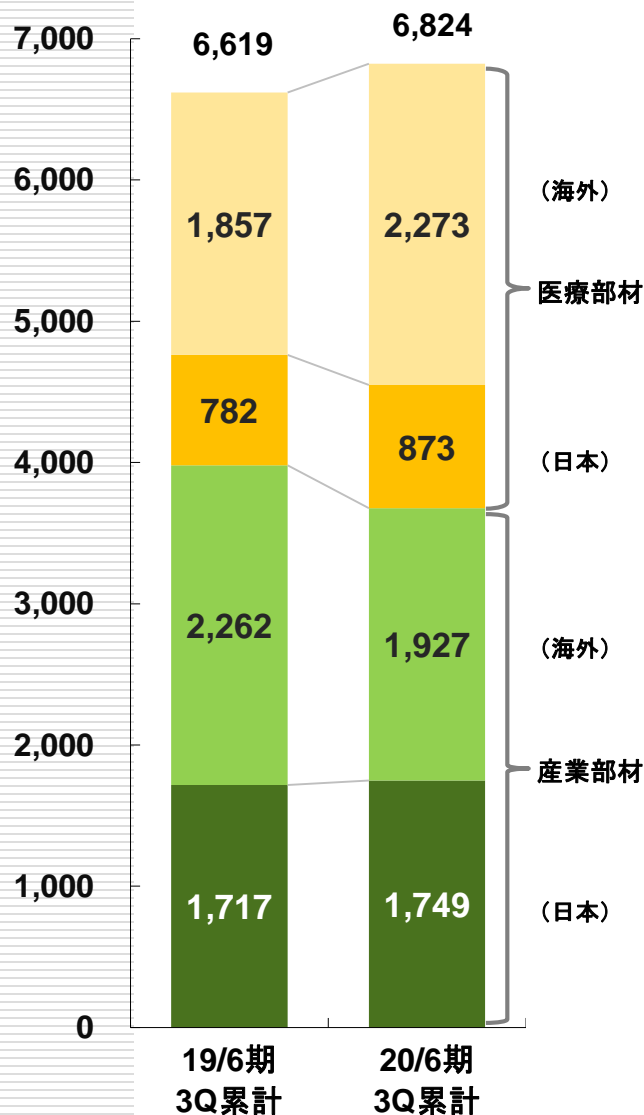
(単位:百万円)

		2019/6期 3Q累計実績	2020/6期 3Q累計実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート(円)	ドル	111.58	108.37	△3.21	△2.9
	ユーロ	127.93	119.96	△7.97	△6.2
	中国元	16.34	15.45	△0.89	△5.4
売上高合計		36,144	38,583	+2,438	+6.7
	日本	11,487	11,544	+56	+0.5
	海外	24,656	27,038	+2,381	+9.7
循環器		26,480	28,375	+1,894	+7.2
	日本	7,077	6,860	△216	△3.1
	海外	19,403	21,514	+2,111	+10.9
非循環器		6,622	6,732	+110	+1.7
	日本	2,718	2,784	+66	+2.4
	海外	3,903	3,948	+44	+1.1
OEM		3,042	3,475	+433	+14.2
	日本	1,692	1,899	+207	+12.3
	海外	1,349	1,575	+225	+16.7



デバイス事業の状況-1

(百万円)



【売上高（前年同期比）】

医療部材

- 日本：新規分野への試作取引及び内視鏡関連部材の増加
- 海外：米国向けの循環器系検査用カテーテル部材及び腹部血管系カテーテル部材の増加

産業部材

- 日本：OA機器関連及び建築関連の取引が増加
- 海外：自動車関連及びレジャー関連の取引が減少

【営業利益】

- 外部売上高及びセグメント間取引の増加により増益



デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

		2019/6期 3Q累計実績	2020/6期 3Q累計実績	前年同期比	
				増減額	増減率(%)
為替レート (円)	ドル	111.58	108.37	△3.21	△2.9
売上高合計		6,619	6,824	+204	+3.1
	日本	2,499	2,623	+123	+4.9
	海外	4,120	4,201	+80	+2.0
医療部材		2,639	3,147	+507	+19.2
	日本	782	873	+91	+11.7
	海外	1,857	2,273	+416	+22.4
産業部材		3,980	3,676	△303	△7.6
	日本	1,717	1,749	+32	+1.9
	海外	2,262	1,927	△335	△14.8
営業利益		2,303	2,706	+402	+17.5
(ご参考) セグメント間売上高		2,646	3,194	+548	+20.7



損益の状況

	2019年6月期 3Q累計実績		2020年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	42,764	100.0	45,407	100.0	+2,642	・メディカル事業の海外売上中心に堅調に推移
売上原価	12,574	29.4	14,338	31.6	+1,763	
売上総利益	30,189	70.6	31,068	68.4	+878	・好調な売上高に比例して増加
販管費	17,269	40.4	18,702	41.2	+1,432	・営業関係費用及び研究開発費の増加
営業利益	12,919	30.2	12,366	27.2	△553	
営業外収益	179	0.4	94	0.2	△85	・補助金収入の減少
営業外費用	202	0.5	80	0.2	△122	・為替差損の減少 ・固定資産除売却損の減少
経常利益	12,897	30.2	12,381	27.3	△516	
特別利益	400	0.9	959	2.1	+558	・段階取得に係る差益の減少 ・新社屋補助金収入の計上
特別損失	—	0.0	508	1.1	+508	・投資有価証券評価損の計上 ・営業補償金の計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,934	23.2	9,278	20.4	△655	
包括利益	10,250	24.0	8,456	18.6	△1,794	・その他有価証券評価差額金 +415 ・為替換算調整勘定 △1,566

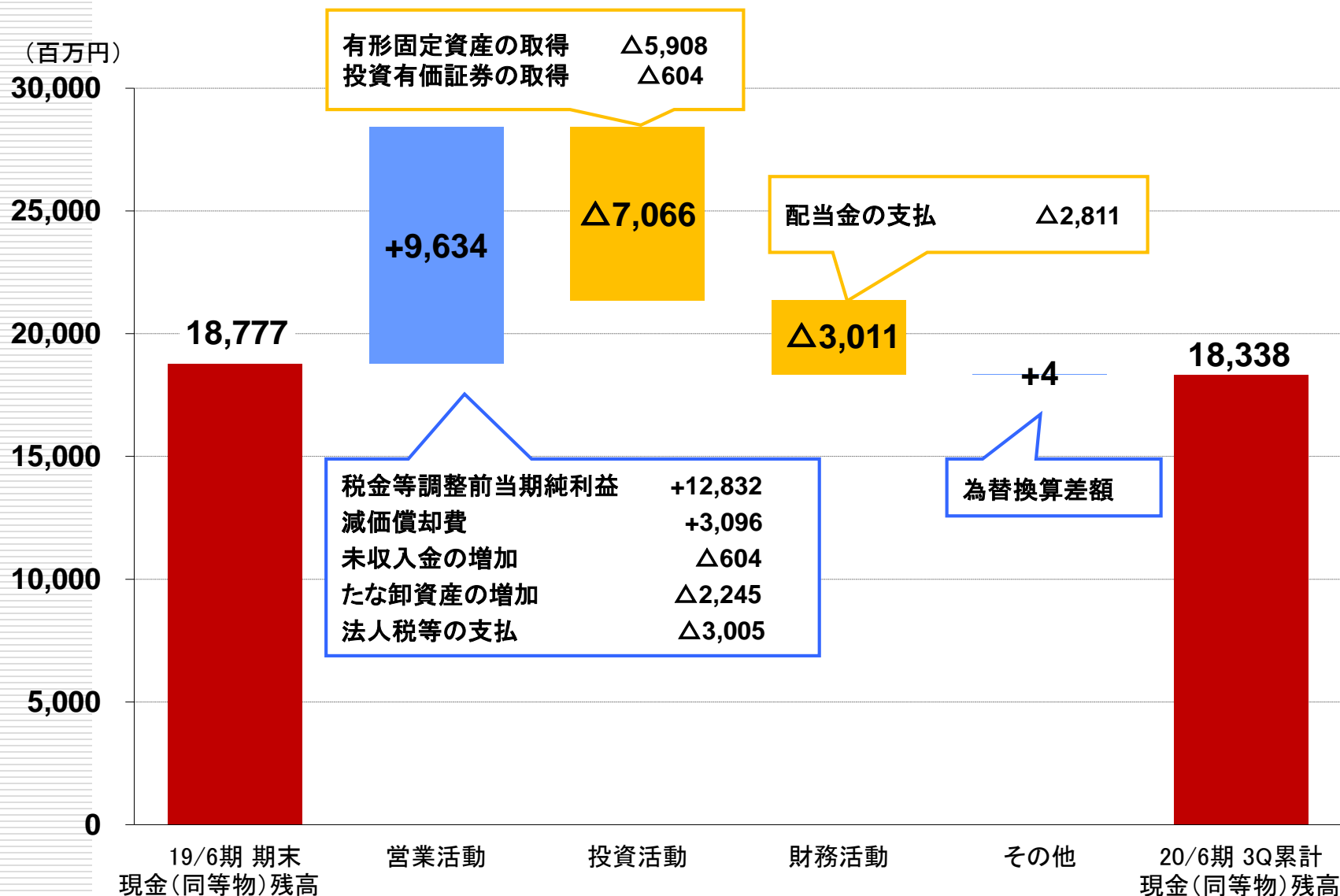


ご参考：財務の状況

		2019年6月期 実績		2020年6月期 3Q累計実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	45,824	54.3	47,364	52.8	+1,540	棚卸資産 +1,690 現金及び預金 △439
	固定資産	38,534	45.7	42,348	47.2	+3,813	有形固定資産 +3,299
資産合計		84,358	100.0	89,712	100.0	+5,353	
負債	流動負債	12,621	15.0	12,155	13.5	△466	未払法人税等 +531 賞与引当金 +324 その他流動負債 △1,333
	固定負債	6,286	7.5	6,388	7.1	+102	長期借入金 △112
負債合計		18,908	22.4	18,543	20.7	△364	
純資産合計		65,450	77.6	71,168	79.3	+5,718	利益剰余金 +6,431 為替換算調整勘定 △836
負債・純資産合計		84,358	100.0	89,712	100.0	+5,353	



ご参考：キャッシュ・フローの状況





目次

1. 2020年6月期(第3四半期) 連結決算の概要

2. 2020年6月期(通期) 連結業績見通し



2020年6月期 決算の見通し

2020年6月期 第2四半期累計期間までは、当初予想に比べて好調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響により、第3四半期会計期間中より、グローバル規模での症例数減少による売上高の減少により、通期業績予想修正を実施

【下方修正の理由】

- コロナ影響に伴う症例数の減少を受け、第3四半期会計期間中より、中国を皮切りに、米国・欧州中近東・アジアなど**グローバル規模にて、症例数が減少**し、売上高が減少
- 血管内カテーテル治療のうち、主に緊急性が高い症例のみ治療を行い、待機が可能な症例については治療が延期されることから、一時的に症例数が減少している
- 新型コロナウイルスの影響が収まれば、延期された待機症例の大半が治療されることが予想
- **中長期的な成長においては、大きな影響は無いものと認識**
- よって、販売費及び一般管理費のうち、研究開発や販売戦略(直接販売化や拠点設立など)などの戦略的な先行投資については、計画通りに実行し費用化

<計画に比べて、第2四半期累計期間まで好調に推移した理由>

- 日本・中国・アジア市場などの売上高の増加
- 販売費及び一般管理費の未発生



2020年6月期業績見通し

	2020年6月期 旧計画		2020年6月期 修正後計画			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	旧計画比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	63,864	100.0	56,207	100.0	△7,656	△12.0
売上総利益	43,617	68.3	37,272	66.3	△6,345	△14.5
営業利益	15,369	24.1	11,940	21.2	△3,429	△22.3
経常利益	15,373	24.1	11,965	21.3	△3,408	△22.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,310	17.7	8,977	16.0	△2,332	△20.6
EPS*	43.46円	—	34.48円	-	△8.98	△20.7

* :EPSにつきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



2020年6月期決算の見通し(前期比)

為替動向や、医療償還価格の下落などの外部要因による減収要因に加え
コロナ影響により、国内・海外ともに減収・減益

- **メディカル海外を中心に3Qまで好調なものの、
コロナ影響により56,207百万円(前年同期比△1.8%)を見込む**

増収要因

- PTCAガイドワイヤーの全地域における更なる市場シェア拡大
- 米国PTCAガイドワイヤーの通年での直接販売開始により、数量増加
- 中国市場の循環器製品について、特需の実需化

減収要因

- 新型コロナに伴う症例数の減少に伴い3月以降の売上高が減少
- 医療償還価格の下落(影響金額 △504百万円)
- 為替動向の影響(△1,532百万円)

- **研究開発や海外営業強化に伴うSGAの増加により、営業利益は減益**

- 売上総利益率は、売上高減少に伴い低下
- 営業利益は11,940百万円(同△21.3%)
 - 研究開発費用の増加(同+342百万円、売上高比率 11.3%)
 - 海外営業強化に伴う費用増加(+161百万円)
- 経常利益は11,965百万円(同△19.3%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益は8,977百万円(同△20.1%)

為替の前提	(単位:円)			
2020年6月期 (修正計画)	US\$	107.78	EURO	118.60
	中国元	15.34	BAHT	3.49
2019年6月期	US\$	111.15	EURO	126.81
	中国元	16.28	BAHT	3.45

為替変動による営業利益の影響・概算(主な通貨)

US\$ (+1 円の影響)	: 約 122百万円 増加
EURO (+1 円の影響)	: 約 64百万円 増加
中国元 (+1円の影響)	: 約 242百万円 増加
BAHT (+0.1円の影響)	: 約 323百万円 減少



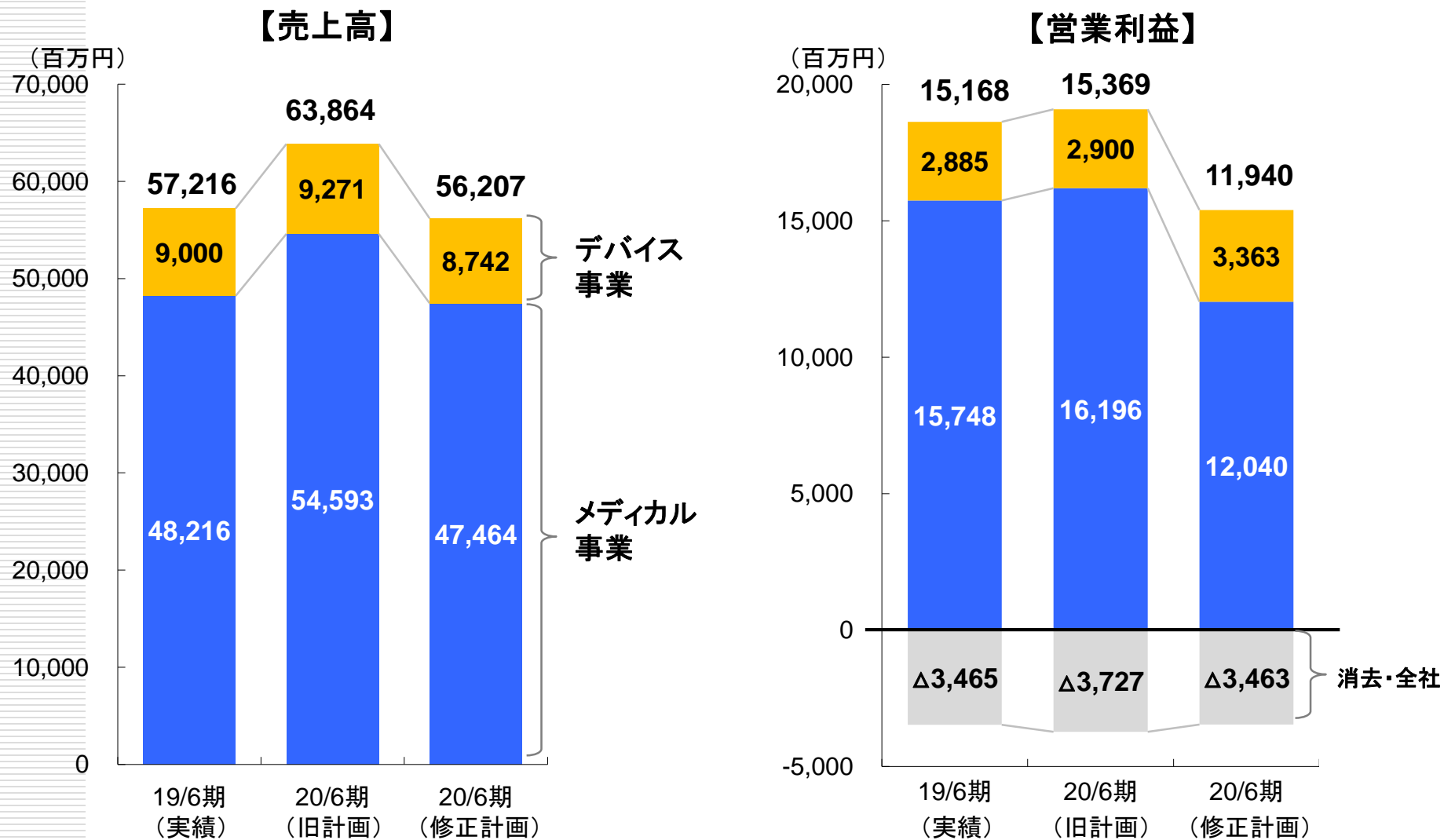
2020年6月期業績見通し

	2019年6月期 (実績)		2020年6月期 (修正計画)				(ご参考) 2020年6月期(修正計画) 前期と同条件の為替レート時			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	57,216	100.0	56,207	100.0	△1,009	△1.8	57,739	100.0	+522	+0.9
売上総利益	39,700	69.4	37,272	66.3	△2,428	△6.1	38,768	67.1	△931	△2.3
営業利益	15,168	26.5	11,940	21.2	△3,228	△21.3	13,237	22.9	△1,930	△12.7
経常利益	14,833	25.9	11,965	21.3	△2,868	△19.3	13,262	23.0	△1,570	△10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,237	19.6	8,977	16.0	△2,259	△20.1	10,275	17.8	△962	△8.6
EPS(円)*	43.29円	—	34.48円	—	△8.81円	△20.4	39.47円	—	△3.82円	△8.8

*:EPSにつきましては、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しているため、前期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、株式分割後の数値を記載しております。



セグメント別の収益見通し

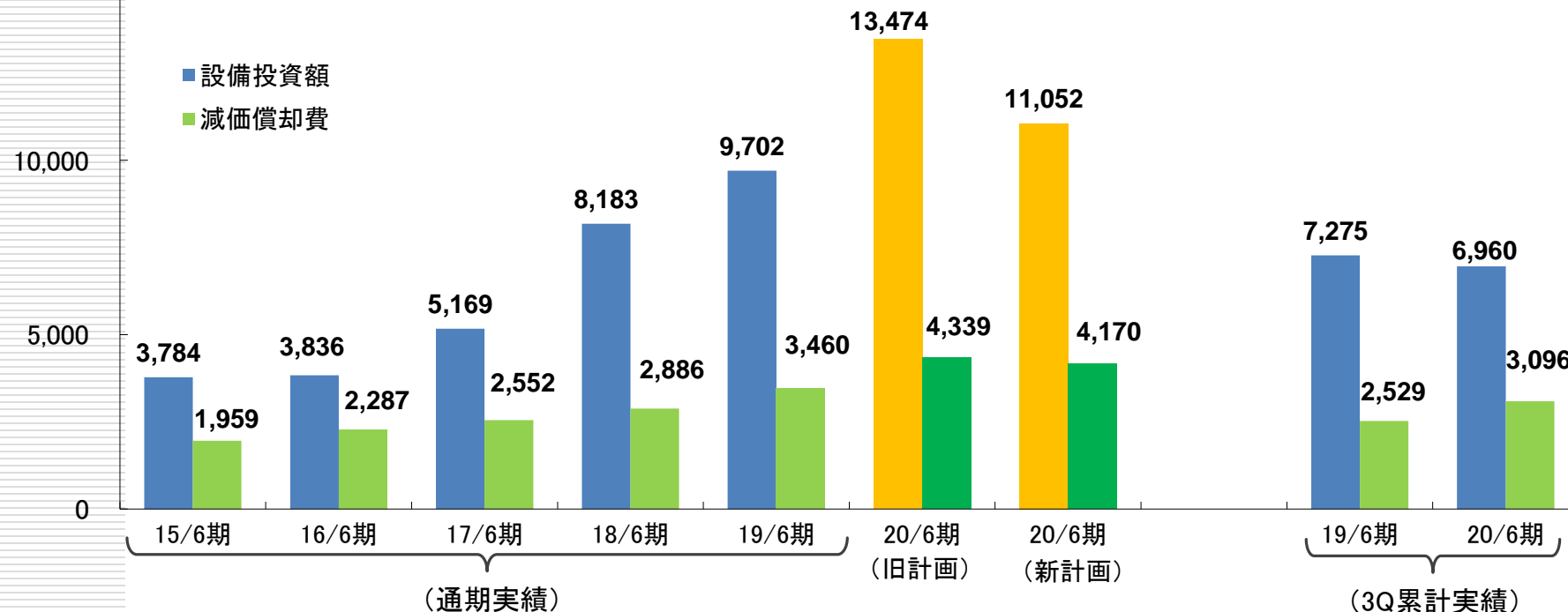




設備投資の実績及び計画

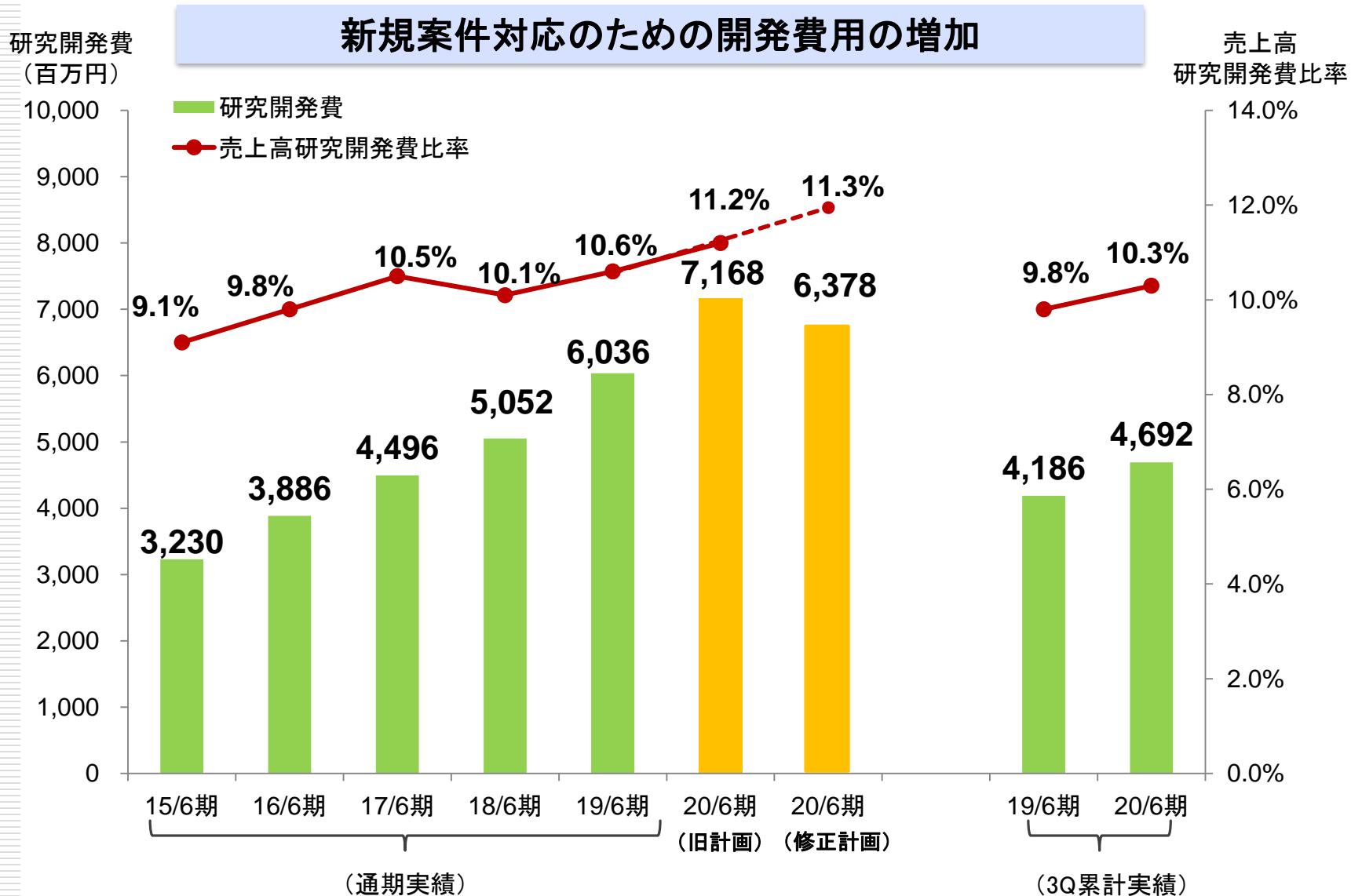
将来の増産に向けた海外工場拠点の拡充を実施

主な投資案件	18/6期(実績)	19/6期(実績)	20/6期(当初計画)	20/6期(新計画)
瀬戸 新社屋の建設	2,705	2,154		
東北R&Dセンターの設立	683	294		
タイ メディカル新工場土地・建物			2,271	1,849
タイ メディカル工場拡張	1,159	1,478	116	43
セブ メディカル第1工場の立上	436	302		
セブ メディカル第2工場の立上		478	1,683	822
セブ デバイス新工場土地・建物			857	877
基幹系システム(SAP)の導入	143	507	1,243	924





研究開発費の推移





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
朝日インテック株式会社 経営戦略室
TEL 0561-56-1851 (Direct)
URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>